

1. 基本情報

留学先大学	ラフバラ大学 (イギリス)
協定留学プログラム	1セメスター
留学期間	2024年9月~2025年1月
名前	M・Nさん
学部・学科・専攻	芸術学部 アート・デザイン表現学科 メディア表現領域
留学した時の学年	三年次

2. 渡航前手続きについて(留学ビザ)

ビザの種類	
申請先	
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	
ビザ取得費用	
必要書類	
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	

2. 渡航について

利用航空会社	全日空
航空券手配方法	ANA
大学の最寄り空港名	ヒースロー空港
現地到着時刻	午後3時
キャンパスへの移動手段	電車
移動所要時間	約2時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	

渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。

荷物との移動が大変だったので、大学が出している空港から寮までの送迎バスや配送サービスも調べておくべきであったと思いました。

3. 住居について

住居タイプ	大学寮
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	1人部屋 (共用キッチン)
住居を探した方法	大学からの案内
住居申し込み方法	大学からの案内に従って大学 Web ページより申し込み

1カ月の宿舍費（現地通貨）	£ 540
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	
構内にある寮には学生数が例年に比べ多く、留学生は隣街の大学が協定している学生寮を使用することになりました。渡航直前まで寮が決まっていなかったため、その可能性も見越して事前に調べておく余裕を持って対応できると思いました。	
急な変更はありましたが、ラフバラ大学の留学チューターの方に相談すれば、交通費の負担などすぐに対応して頂けたので、何か困ったことがあればメールで相談してみるとおおよそのことは解決できると思います。	

4. 留学先オリエンテーションについて	
オリエンテーション有無	ありました
日程	2024年9月26日(クリエイティブアート)9月27日(ファインアート)
参加必須ですか？	はい

5. 授業について	
履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着前にオンラインで
履修科目・単位数は？	2科目各10単位
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよかった

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。	
履修学科名	Fine Art
①履修科目コース名	Identifying Individual Practice
授業時間	月曜日レクチャー120分 実技180分 金曜日ワークショップ180分
授業回数(週)	週2-3回
単位数	10
授業内容・課題・試験について	<p>[授業内容]</p> <p>この授業は自分自身の作品制作の方向性を探していく授業です。</p> <p>毎週月曜日の午前中はレクチャーで、今週行われる大まかな授業内容やアナウンス、質問の共有がされる時間と、個人の制作のヒントになるような制作プロセスの組み方や、参考作品の紹介などがなされる時間です。午後は自分のスタジオスペースでの制作時間が与えられていました。その時間のどこかで自分の担当チューターに制作状況を説明し、質問やアドバイスを受ける時間がありました。</p> <p>毎週金曜日は、自身が事前に選んだワークショップが行われます。ペインティングやスカルプチャーなど五つのワークショップから選び、授業を受けます。</p> <p>学期の初めの方にはヨークシャー・スカルプチャー公園への研修や構内にある彫刻作品の見学、二つの森を散策する授業がありました。</p> <p>提出期限の前週には少人数のグループに別れてクラスメイトの作品説明を聞いたり質問したりすることができる講評会がありました。</p> <p>[課題]</p> <p>CW1: Practical Presentation 作品の素材になるようなドローイングやスケッチ、リサーチを行い、その中から特に成功した成果物を3点とそれらのプロセスを与えられた自身のスタジオスペースに掲示して提出します。提出方法は実際の展示と写真でのデジタル提出の二点です。</p> <p>CW2: Art Commission Proposal 作品のコンセプトや具体的な展示方法を文章でまとめたページ、作品のイメージ写真（実際に作った作品でも合成した写真でも可）を各1ページ、作品のコンセプトのリサーチや素材の検討、ドローイングなどのプロセスをまとめた3ページ（1ページごとに50ワードの補足文章が許されています）、最後に参考作品や文献をまとめた1ページの合計6ページの提案書を提出します。</p> <p>どちらの課題も完成された作品の提出というより、プロセスやリサーチを重視している印象を受けました。</p>

<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>		
<p>②履修科目コース名 Developing Individual Practice</p>		
<p>授業時間 月曜日レクチャー120分 実技 180分 金曜日ワークショップ 180分</p>		
<p>授業回数(週) 週2回</p>		
<p>単位数 10</p>		
<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>[授業内容] Identify individual practice で明らかになった自身の方向性や作品のためのドローイング、スケッチなどの成果物を使って実際に作品を完成させるという授業です。授業形態は Identify individual practice と変わりません。 [課題] CW1:制作した作品4点を自身のスタジオスペースに展示します。提出形態は実際の展示と写真のデジタル提出の二点です。 CW2:授業が始まってからの六週間の記録をまとめます。2ページにその週に行ったドローイング、スケッチ、マインドマップなどのプロセスをまとめます。(1ページ50ワードの補足説明が許されています)</p>	
<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>		
<p>③履修科目コース名</p>		

授業時間	
授業回数(週)	
単位数	
授業内容・課題・試験 について	
成果物の写真 2点以上を張り付け てください。	

7. 現地情報

(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？

キャンパス内や寮では問題なく使用できました。ただ、地下鉄やバスの中ではインターネット接続が悪くたまに圏外になることもありました。

(2)現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？

SIMカードは入寮時に giffgaff の SIMカードを買ったので使用しました。£10 で 60G 使用できるプランだったのでギガを全く気にせず使用でき、電話番号も作ることができたので色々な登録時に楽でした。日本の電話番号が使えないので特に、クレジットカードでの購入時パスワードが SMS で送られてくる場合には不便でした。

(3)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？

クレジットカードのみです、またカードを出すことなくほとんど携帯に登録するような電子マネーで支払っていました。

(4)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？

いいえ、支払うことはなかったです。

(5)現地での資金調達はどのように行いましたか？

日本の空港で換金して持って行ったので必要ありませんでした。

(6)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？

はい、£150 ぐらい

(7)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本の調味料(本だしとかめんつゆ、コンソメなど)
日本のお菓子(お煎餅とか羊羹など)

8. 留学体験記

(1)留学しようと決めた理由は？

留学を決めた理由は三つあります。一つ目は、ヨーロッパの美術教育に興味がありました。高校時代からイギリスに留学した友達や海外に大学進学した友達の話を聞くと、イギリスの美術、芸術の教育は日本よりも重要視されている印象を受けました。鑑賞や制作など色々なアプローチで小さい頃から身近にあるものだと知り自分も学生としてそれらを体感できるきっかけになると思いました。

二つ目は、多様性の中に身を置き異文化を知り制作活動をする事で新たな刺激を得ることができると考えました。制作活動は身の回りの環境や経験に大きな影響を受けると思いますが、ラフバラー大学のファインアート学科は絵画だけでなく自分が女子美で二年間学んだメディアアートをファインアートの視点から学べるということを知り、メディアに捉われない環境での作品制作に興味がありました。

三つ目は、自分の作品を説明するための英語力を磨くためです。日本で英語を学ぶことはできますが、その場で自分の作品を説明するスキルを向上するのは限定的だと思いました。さらに、英語には大きな発信力があります、沢山のの人に自分の作品を発信し、知ってもらうために英語力は欠かせないものであると思いました。

(2)留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？

英会話 文法や単語を学ぶことも大事だと思いましたが、実際に会話することにもう少し慣れる準備をしておきたかったです。

(3)この協定大学を選んだ理由は？

ラフバラー大学のクリエイティブアートではファインアートの領域でメディアアートを学ことができ、マテリアルや方法にとらわれない制作ができることを知りました。普段からメディアアートのならず、ドローイングやオブジェなどコンセプトによって制作方法を変えている私にとって良い環境であると思い、ラフバラー大学を選びました。

(4)大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？

学年全体はとても明るく、授業形式や先生がかなり自由なためクラスメイト同士で知っていることは共有し、相談したりしているような雰囲気でした。留学生のサポートをする部署は困ったことがあった時質問すれば必ず解決できるような提案や、回答をくれるのでとても質問しやすかったですし、ファインアートの部署とも連携が取れていて、とてもレスポンスが早かったです。とても頼りになる印象を受けました。

(5)交友関係についてお聞かせください。

寮のルームメイト、留学生の交流イベントや美術館への研修、自分のスタジオスペースの近くのクラスメイト、ワークショップなどで他の国からの留学生やネイティブの学生とも知り合いました。日本からの留学生もクラスに一人いました。同じ寮に住む友達とは美術館に行ったりランチを食べに行きました。美術館への研修では同じグループの大学院生の友達ができ家でご飯をご馳走してくれました。違う文化の食事を楽しむことができとても楽しかったです。

(6)困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。

寮と大学が1時間30分程かかるので特に、提出期限直前は毎日行くのが大変でした。また、制作のための素材を調達するのが大変でした。基本はワークショップの先生と話すや貰うことができるのですが、用意されてなかったり特殊なものだと自分でオンラインで購入したりホームセンターに行ったりしました。基本的にそういった情報量が留学生は少ないのでどこに行けば何がもらえるのかわからず、何度も先生に質問したり、友達に聞いたりしましたがそれでも追いつかないことはありました。授業最終日まで知らなかったことが沢山ありました。

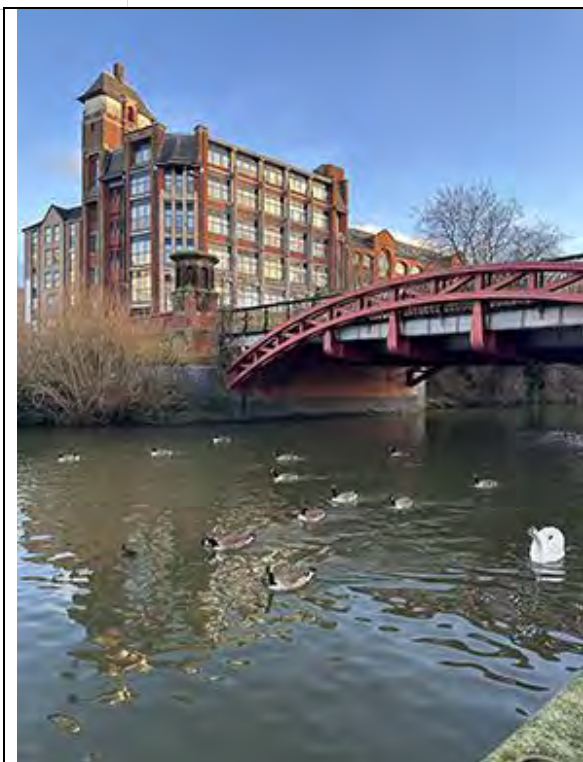
(7)現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。

月曜に行われるチューターとのディスカッションで自分の作品に必要な要素であったり参考になりそうな作品、興味がありそうな学問などを教えて貰い自分の制作を進めていくという形なので、それぞれが個人で制作しているという印象が強いです。学生たちの個人的で様々な興味に触れることができとても面白かったです。

(8)海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。

留学と聞くと初めは、SNSで見えるような生活をしなければならないのかとか毎日のように友達と遊ぼうような生活だと思っていましたが、始めてみると、自分のペースで変わらない生活が出来たことに気づきました。海外での生活が想像していたよりも気楽で日本にいる時と変わらない精神状態で制作することができ、より身近になったような気がします。

(9)海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上





協定海外留学レポート

Joshi University of Art and Design

1. 基本情報

留学先大学	ラフバラ大学 (イギリス)
協定留学プログラム	1セメスター
留学期間	2024年9月～2025年1月
名前	K・Kさん
学部・学科・専攻	芸術学部 共創デザイン学科
留学した時の学年	2年次

2. 渡航前手続きについて(留学ビザ)

ビザの種類	Students Visa
申請先	ラフバラ大学
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	約2ヶ月
ビザ取得費用	£0
必要書類	パスポートのコピー、ポートフォリオ、成績証明書、ラーニングアグリーメント
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
留学申請フォームへの入力と、必要書類をメールにて送信しました。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
面接はありませんでした。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	
送信した書類がラフバラ大学の方で開けないという連絡があり、送り直すというトラブルがありました。 また、一度送ったパスポート等の情報はその後の本人確認に欠かせません。期限をあらかじめチェックして、必要があれば更新した上で、期限に余裕を持って提出することをお勧めします。	

2. 渡航について

利用航空会社	日本航空
航空券手配方法	eチケット
大学の最寄り空港名	ヒースロー空港
現地到着時刻	午後4時20分
キャンパスへの移動手段	電車
移動所要時間	約2時間半
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
バスと電車、どちらでも行けます。どちらも遅延や変更が多いので、アプリ等で最新の情報を入手できる状態にしておくのと不安が少ないと思います。長距離のものは事前予約をお勧めします。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	
ヨーロッパ(イギリス)の交通アプリをダウンロードしておく、チケット購入やプラットフォームの確認に便利です。 また、イギリス入国の際にETAが必須になり、事前の取得が必要です。 入国審査で質疑応答が必要になった場合や端末が使えない場合に備えて、Students Visaやパスポートのコピーを紙媒体で印刷しておくのもお勧めです。	

3. 住居について

住居タイプ	大学寮
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	1人部屋(キッチン共有)
住居を探した方法	大学からの案内
住居申し込み方法	大学からの案内に従ってWebページより申し込み
1カ月の宿舎費(現地通貨)	¥540
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	

4. 留学先オリエンテーションについて


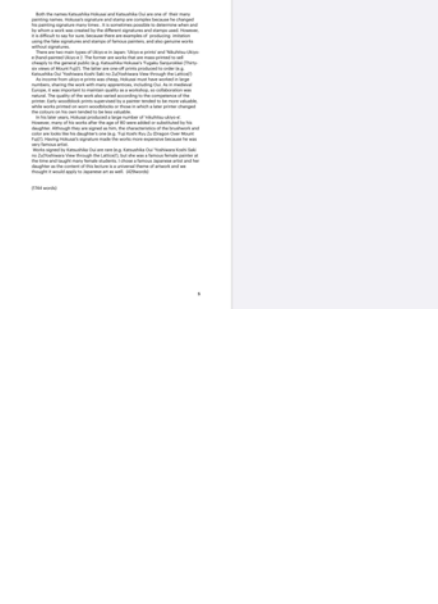
オリエンテーション有無	ありました
日程	2024年9月26日
参加必須ですか？	はい

5. 授業について

履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着前にオンラインで
履修科目・単位数は？	4科目30単位
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよかった

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。

履修学科名	Fine Arts	
①履修科目コース名	Identifying Individual Practice	
授業時間	60分(講義) + 180分(制作)	
授業回数(週)	週1回	
単位数	10	
授業内容・課題・試験について	週1回の講義にて説明を受け、他の時間はアドバイスを受けながらスタジオで制作を行います。期日までに4つ以上の成果物の作成が求められました。以下の2つはオンラインで、現物はスタジオに設置という形で提出しました。 提出物 ・最も成功した作品とそのコンセプト、リサーチ過程 ・3つの作品とスタジオの写真	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		
②履修科目コース名	Reading Art Theory	
授業時間	60分(講義) + 60分(セミナー)	
授業回数(週)	週1回	
単位数	5	

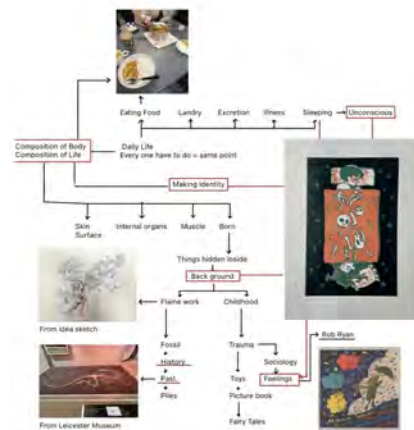
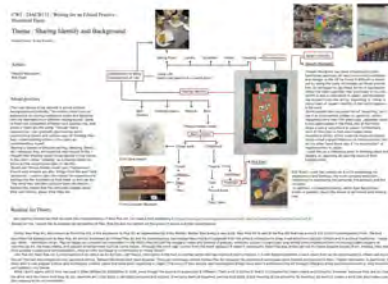
<p>授業内容・課題・試験 について</p>	<p>アートに関する講義の後に、セミナーで生徒で議論を行うという授業形態でした。 提出物 ・毎週の講義の要約＋任意のアーティスト、アートについての文章</p>	
<p>成果物の写真 2点以上を張り付けて ください。</p>		
<p>③履修科目コース名</p>	<p>Developing Individual Practice</p>	
<p>授業時間</p>	<p>60分(講義) + 180分(制作)</p>	
<p>授業回数(週)</p>	<p>週1回</p>	
<p>単位数</p>	<p>10</p>	
<p>授業内容・課題・試験 について</p>	<p>Identifying Individual Practiceと基本的な授業形態は同じでした。 提出物は、より美術作品としての完成度が重視されていました。 提出物 ・6週間の制作過程、リサーチなどのまとめ ・4つの作品とスタジオの写真</p>	

成果物の写真
 2点以上を張り付けて
 ください。



④履修科目コース名	Writing for an Ethical Practice
授業時間	60分(講義) + 60分(セミナー)
授業回数(週)	週1回
単位数	5
授業内容・課題・試験について	Reading Art Theoryと基本的な授業形態は同じでした。講義内容を元にリサーチを行い、自分の作品に関連したマインドマップを作成しました。 提出物 ・マインドマップ

成果物の写真
 2点以上を張り付けて
 ください



7. 現地情報

(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？
キャンパス内では大学のWi-Fiを利用することができました。大学の外では、自然の中や地下鉄、街中でも稀に繋がりにくいときがありました。
(2)現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？
ワイモバイルの海外あんしん定額のプランを利用しました。
(3)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？
主にクレジットカード払い
(4)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？
フリーマーケットで学生から品物を購入する際や、友人への立て替えの返金には現金を使用しました。
(5)現地での資金調達はどのように行いましたか？
日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。
(6)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？
はい、£50くらい
(7)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。
箸、ハサミやカッター(現地のものは切れ味が良くない)
8. 留学体験記
(1)留学しようと決めた理由は？
様々なバックグラウンドを持つ人たちと出会い、視野を広げたいと思ったため。言葉や文化が違う人たちとコミュニケーションを取ることに興味があったため。
(2)留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？
IELTSの英会話スクールに通い、アカデミックな英語を勉強しました。自分の作品や、関心がある社会問題について用語を調べるなどして、説明できるようにしておくと思いいます。
(3)この協定大学を選んだ理由は？
英語のスキルを磨きたかったので、英語圏にあったこと、国際的な学校で他の国からの留学生も多く受け入れていたことが決め手でした。
(4)大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？
総合大学で様々な学部があり、女子美より多様な学生が通っています。先生方が常に多様性に配慮した教育を心がけている印象でした。学生の多くはとてもフレンドリーで、助けられることも多かったです。
(5)交友関係についてお聞かせください。
寮のフラットメイトと仲良くなった他、パーティー等で知り合った友人たちと遊びに行ったり、食事をする機会がありました。また、同じコースの友人たちには、授業でわからなかったことをフォローしてもらったり、ノートを見せてもらったり、本当にたくさん助けてもらいました。
(6)困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。

スマートフォンを使いこなせず、違う電車に乗ってしまったり、校舎がわからず混乱したり、移動を負担に感じました。また、体調を崩したときなど、非常に不安でした。

(7)現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。

制作や時間の使い方がほぼ学生に委ねられており、情報不足で途方にぐれました。授業は録画されていて後から何度でも見直すことができるので、それを使用しながらレポートをまとめました。スライドなしでの講義やディスカッションが非常に難しく感じました。

(8)海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。

イギリスでは何をしてもアプリのダウンロードが必要で、便利な一方、スマートフォンがなければ何もできない不便さを感じました。また道を歩く時に常に注意が必要のため、日本の安全を改めて実感しました。

(9)海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上





1. 基本情報

留学先大学	ラフバラ大学 (イギリス)
協定留学プログラム	1セメスター
留学期間	2025年2月～2025年6月
名前	I・Rさん
学部・学科・専攻	短期大学部 造形学科 デザインコース メディア専攻
留学した時の学年	2年次

2. 渡航前手続きについて(留学ビザ)

ビザの種類	Students Visa
申請先	
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	
ビザ取得費用	
必要書類	
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	

2. 渡航について

利用航空会社	JAL
航空券手配方法	JALアプリ
大学の最寄り空港名	ヒースロー空港
現地到着時刻	午後15時15分
キャンパスへの移動手段	電車
移動所要時間	約3時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	
eSIMやSIMカードの手配。	
3. 住居について	

協定海外留学レポート

Joshibi University of Art and Design

住居タイプ	大学寮
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	1人部屋
住居を探した方法	大学からの案内
住居申し込み方法	大学からの案内に従って大学Webページより申し込み
1カ月の宿舎費(現地通貨)	£360
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	

4. 留学先オリエンテーションについて

オリエンテーション有無	ありました
日程	2025年2月5日
参加必須ですか？	はい

5. 授業について

履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着前にオンラインで
履修科目・単位数は？	4科目
ボリューム的にどうでしたか？	少し多かった

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。

履修学科名	Graphic Design
①履修科目コース名	Visual Practice
授業時間	講義60分＋セミナー120分
授業回数(週)	週7回
単位数	10
授業内容・課題・試験について	



成果物の写真
 2点以上を張り付けてください。



②履修科目コース名	Digital Storytelling
授業時間	自習120分+講義60分
授業回数(週)	2回
単位数	10
授業内容・課題・試験について	自分にとっての持続可能なものを考え、最終的に1分ほどのナレーション入りの動画を作る。アニメーション、動画、イラストなど様々な表現可能。

<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>		
-----------------------------------	---	--

<p>③履修科目コース名</p>	<p>Branding and Strategy</p>	
<p>授業時間</p>	<p>講義60分+セミナー180分</p>	
<p>授業回数(週)</p>	<p>5回</p>	
<p>単位数</p>	<p>10</p>	
<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>隣町(レスター)にあるそれぞれの場所から一つ選びその場所のブランドを作りデザインする。最終的に授業ないで出るそれぞれの課題をまとめた12枚ほどのスライドと自分の考えたブランドデザイン+アニメーションを15枚ほどのスライドにして提出。それを最後に先生の前で15分ほどプレゼンテーションする。</p>	

<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>		
-----------------------------------	---	--

<p>履修学科名</p>	<p>Graphic Design</p>	
<p>①履修科目コース名</p>	<p>Practice for Writing</p>	
<p>授業時間</p>	<p>講義120分+セミナー120分</p>	
<p>授業回数(週)</p>	<p>週3回</p>	
<p>単位数</p>	<p>10</p>	
<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>デザインに関係するもので自分が気になるものを一つあげ、それについての論文を書く。</p>	

7. 現地情報

(1) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？ 【回答例】 キャンパス内では大学のWi-Fiを問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。
大学内はWi-Fiの入りかどの端末でも悪かった。街を歩いている時たまに電波が繋がらない時があったが満足に使用できた。
(2) 現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？ 【回答例】 SIMカードを渡航前にAmazonで購入しました。
渡航前にeSIMを購入しましたが後に現地でSIMカードも購入しました。
(3) 現地での支払い方法はどのようにしていましたか？ 【回答例】 主にクレジットカード払い
クレジットカード
(4) 現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？ 【回答例】 はい、友達との食事代支払いの時に使用しました。
なし
(5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ 【回答例】 ①クレジットカードを使用してATMで現金を調達しました。 ②日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。
なし
(6) 日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていられましたか？ 【回答例】 はい、\$1,000位
なし
(7) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。 【回答例】 日本の調味料
米、味噌汁、醤油

8. 留学体験記

(1) 留学しようと決めた理由は？ 英語圏の留学に興味があったから。英語を話す環境に行きたかったため。
(2) 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？ リスニングや会話の練習。
(3) この協定大学を選んだ理由は？ 英語圏であり、デザインに特化しているから。
(4) 大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？ たくさんのアイデアを考えたり、自分の意見を述べたりと制作熱心な生徒が多かった。 大学も綺麗で過ごしやすかった。
(5) 交友関係についてお聞かせください。

協定海外留学レポート

Joshi University of Art and Design

同じ協定留学生で同じ授業を履修していた生徒とよく連絡を取り合い、出かけたりした。クラスにも顔馴染みができ、一緒に授業を受けたりわからないことを教えてもらったりしていた。他にも偶然の出会いで他学科の人と仲良くなり、遊んだり、バースデーパーティに呼んで貰ったりした。みんなとても優しかった。

(6) 困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。

女子美と違い途中経過や作品を作るにあたって調べ学習や調査も重視されるためいつもより作業量が多く大変だった。文章を読むのが苦手なので理解するのが難しく感じるが多かった。

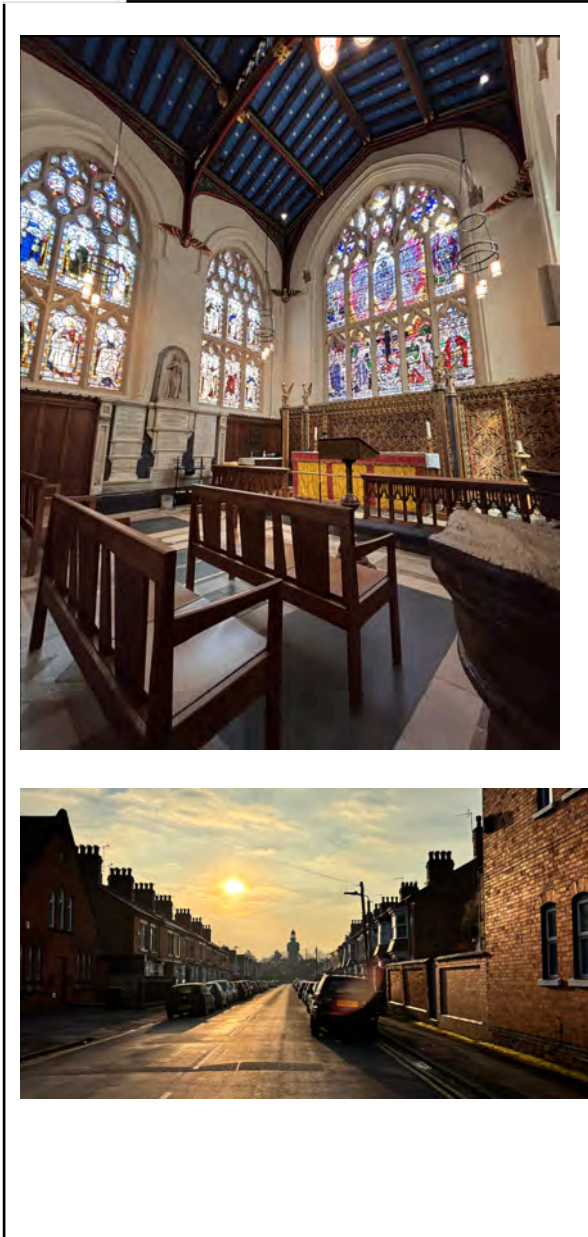
(7) 現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。

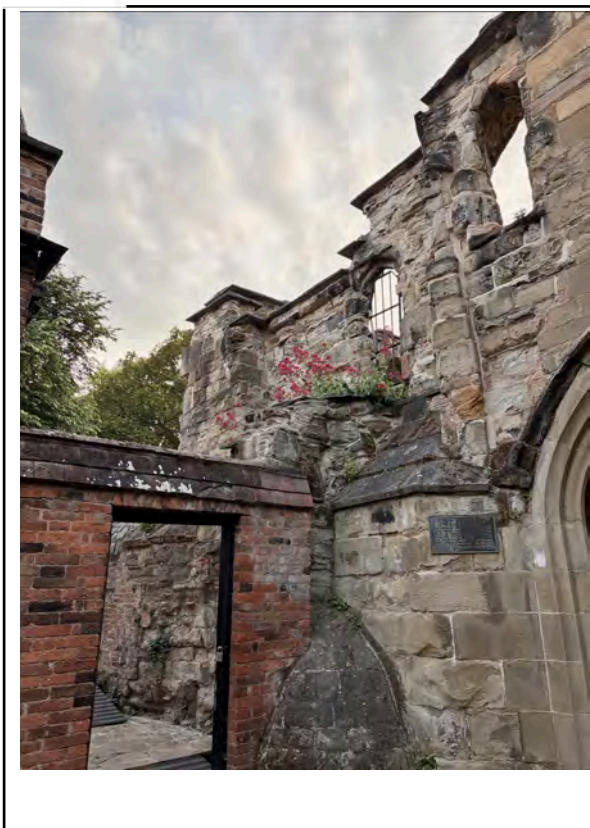
休みの日や空いてる時間によくPeppaPig見てた。子供向けアニメでわかりやすいし可愛いのでセリフよく真似して読んでた。

(8) 海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。

運動している人が多いことや寒いのに薄い服着ている人が多くて驚いた。暑くなると今度は露出の多い服を着ている人や男性だと上裸で普通に歩いてる人がいたのが日本と違って面白かった。ロンドンや自分が暮らしていた街は椅子が多く、自然にも近いのでのんびり過ごすことができた。あの生活に戻りたい。また、身近に歴史観や教会があり、教会ではよくイベントをやっていたので行くのが楽しかった。街中で知らない人が服装や髪色褒めてくれることがよくあり、日本よりフラットな感覚になって楽しかった。食品に関しては日本より安く買えるものが多く、自炊には困らなかった。寮だと冷房がないので暑い時は少し辛かった。休みが多くて驚いた。

(9) 海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上





1. 基本情報	
留学先大学	ラフバラ大学 (イギリス)
協定留学プログラム	1セメスター
留学期間	2025年10月~1月
名前	T・Mさん
学部・学科・専攻	芸術学部 アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現領域
留学した時の学年	3年次

2. 渡航前手続きについて (留学ビザ)	
ビザの種類	ETA(Standard Visitor Visa)
申請先	イギリス政府公式サイト
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	1日
ビザ取得費用	16ポンド
必要書類	パスポート、メールアドレス、クレジットカード、顔写真
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
イギリス政府の公式サイトまたは eta 取得のアプリをインストールし、手順に従ってパスポート情報等を入力	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	
特になし	

2. 渡航について	
利用航空会社	日本航空
航空券手配方法	HIS(旅行代理店)
大学の最寄り空港名	ヒースロー空港
現地到着時刻	午前7時
キャンパスへの移動手段	バス(大学がシャトルバスを臨時で用意)
移動所要時間	約3時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
シャトルバス待つのに空港で5時間待機した。 電車で行くことも可能だが、たまに地下鉄駅は階段しかないので注意。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	
e-sim のアクティベートと、着陸後に向かう目的地への交通手段を調べておく。	
3. 住居について	

住居タイプ	Private accommodation (off campus)
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	1人部屋(フラットシェア)
住居を探した方法	自分でサイトを調べた
住居申し込み方法	自分で不動産屋とコンタクト
1カ月の宿舍費(現地通貨)	£525
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記お願いします。	
とにかく早めを探し始めること。(半年留学は特に。学生寮を当てにしないこと。入れる確率低いです。)連絡がとにかく遅いです。躊躇わず電話をかけてください。下記のリンクにある留学メモにアドバイスが詳しく記載されています。	

4. 留学先オリエンテーションについて





オリエンテーション有無	ありました
日程	10月の初め
参加必須ですか？	はい

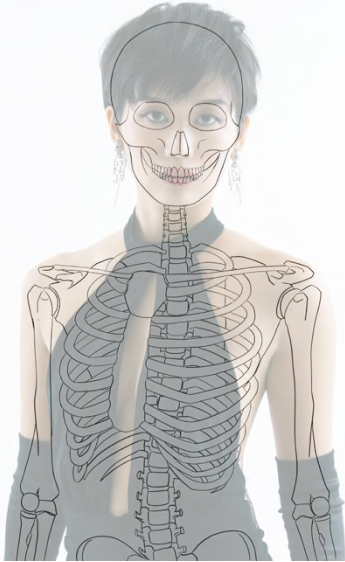

5. 授業について



履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着前にオンラインで
履修科目・単位数は？	4科目 60単位
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよかった

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。

履修学科名	Fine art
① 履修科目コース名	ACA111
授業時間	
授業回数(週)	1回×6週間
単位数	10
授業内容・課題・試験について	<p>Adobe ソフトの基礎的な使い方を学ぶ授業。 最終課題 (10 ページ) InDesign で作成した A4 PDF 文書。 以下の内容を含む：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Adobe Photoshop スキルを示す 2 ページ ・Adobe Illustrator スキルを示す 2 ページ ・Adobe InDesign スキルを示す 2 ページ ・ポスターデザインのための調査とアイデア考案 (スケッチ/モックアップ) 2 ページ *400~500 語を含む ・最終アートワーク 1 ページ ・文書末尾に個人スキルチェックリスト 1 ページ

<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>		
<p>② 履修科目コース名</p>	<p>ACA112 Art and Design Research Writing</p>	
<p>授業時間</p>	<p>240分 lecture 60min seminar 180min</p>	
<p>授業回数(週)</p>	<p>1</p>	
<p>単位数</p>	<p>10</p>	
<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>美術作品に関するフォーマルな形式の視覚分析の記述方法について学ぶ。講義を1時間受けたあと、約3時間のセミナーが行われ、グループになって実践的にリーディングやライティングを行う。 最終課題は 1000 words の分析的記述。自分の制作に関する任意のアート作品3点を挙げ、それらについて分析・考察して記述する。</p>	
<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>		
<p>③ 履修科目コース名</p>	<p>ACA130 Introduction to Contemporary Practice</p>	
<p>授業時間</p>	<p>月曜日 240min 火曜日 180min</p>	
<p>授業回数(週)</p>	<p>2</p>	
<p>単位数</p>	<p>20</p>	

<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>3週間に1つ課題が与えられ、最終提出日にスタジオに展示。週に一度、スタジオスペースで教授と制作相談の時間が設けられる。</p> <p>展示物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのドローイング ・3つのペインティング ・1つのマケット(最低3点の補助的な準備作品を伴う) ・9つの実践的研究 ・5つのワークショップの成果物 ・個人で参加したワークショップの成果物 <p>①Drawing about “mapping me”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・draw a diagram/map of your family relationships ・draw a diagram/map of the places that you regularly visit and how they fit together ・draw a diagram/map of the things you like to do ・draw a diagram/map of your house ・draw a diagram/map of your body ・draw a diagram/map of how you think ・draw a diagram/map of everything in the world, divided into categories <p>以上7つのうちから最低4つを描く。</p> <p>②Painting</p> <p>二つのコラージュと、それから発展させたペインティング。</p> <p>また、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・a painting about numbers or instructions ・a painting that is ephemeral ・a painting made on a non-art surface(I.e. Not canvas, paper, card or wood) ・a painting of an ending ・a painting made from pressure ・a painting with a glitch (interference, disruption, interruption) <p>以上の中から最低一つを選び描く。</p> <p>④ The Fourth Plinth</p> <p>トラファルガー広場の第4基壇に設置することを想定した作品のマケットを制作する。メディアは問わない。二つ以上の異なるアイデアを含むアイデアスケッチや、デジタル画像など最低三点の補助作品を伴い、一点の完成作品とする。</p>
<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

⑤ 履修科目コース名	ACA131 Process, Practice and Context	
授業時間	120min	
授業回数(週)	約 2 週間に 1 度	
単位数	20	
授業内容・課題・試験について	美術作品に関するフォーマルな形式の視覚分析について学ぶ。 セミナー1:美術作品の形式的要素を特定し記述する 200 語(±10%)。 セミナー2:自主的に選択した美術作品において関連する形式的要素と原理を特定し、それらが作品の意味解釈にどのように寄与するかを分析する(200 語)(±10%)。 セミナー1&2 の成果物は第 7 週の個別チュートリアルで提示すること。 セミナー3&4:調査した作品と、自身の制作成果または実験例との比較分析(500 語±10%)。	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		

7. 現地情報
(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？ 【回答例】 キャンパス内では大学の Wi-Fi を問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。
キャンパス内では Wi-Fi を問題なく使用できた。家では、自室が Wi-Fi に繋がりにくかった。
(2)現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？ 【回答例】 SIM カードを渡航前に Amazon で購入しました。 渡航前に e-sim を購入、渡航後に現地電話番号が使える現地キャリアに切り替え
(3)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？ 【回答例】 主にクレジットカード払い 主にデビットカード
(4)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？ 【回答例】 はい、友達との食事代支払いの時に使用しました。 友人と割り勘するとき スーパーのカート利用やコインロッカーのためのコイン
(5)現地での資金調達はどうに行いましたか？ 【回答例】 ①クレジットカードを使用して ATM で現金を調達しました。 ②日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。
Wise のカード
(6)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？ 【回答例】 はい、£1,000位 150 ポンドくらい

<p>(7)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。 【回答例】日本の調味料</p>
<p>インスタントラーメン。買えるが、高い。 風邪薬などの常備薬。買えるが、高い。あと説明が全て英語なので、日本の飲みなれているものが安心。 バスルームなどでも使える家用のスリッパ。</p>
<p>8. 留学体験記</p>
<p>(1)留学しようと決めた理由は？</p>
<p>環境を変えたかったから。</p>
<p>(2)留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？</p>
<p>日本で治療中の病気と服用している薬がある場合、主治医に確認をとって診断書と英文の薬の説明書をもらっておく。診断書は時間がかかるので早めの準備が大切。持ち込みに規制のある薬物もあるので、要チェック。</p>
<p>(3)この協定大学を選んだ理由は？</p>
<p>現代アートを学びたくて、アメリカかイギリスに行きたいと考えていた。 その中で当時募集していた大学がこの協定大学だった。</p>
<p>(4)大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？</p>
<p>運動系が多い。明るく陽気な雰囲気。 自分から積極的に話しかければ友人もできる。ソサエティも多く、充実した大学生活を送れる。 キャンパスが広大。全休の日も多かった。</p>
<p>(5)交友関係についてお聞かせください。</p>
<p>留学生のパーティが多いので、そこで同じ学科の子と知り合ってよく話した。 グループワークで知り合った子とたまに飲みに行くなど。 フラットメイトとはエディンバラへ旅行に行った。</p>
<p>(6)困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。</p>
<p>家探しが一番大変だった。 たまに休講連絡が受け取れないことがあり、クラスのグループチャットで教わることも多かった。</p>
<p>(7)現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。</p>
<p>講義系科目が2科目、実技系が2科目。 1年生の授業に参加したので、基礎内容が多く、ファインアートが初めてでも安心して参加できた。 ワークショップで基本的な技術を学んで、工房など施設も予約すれば自由に使える。 フリーの時間が多いので、個人制作も十分にできた。 講義系では visual analysis の方法を学んだ。グループワークも多い。Adobe の基礎授業が後半にあった。</p>
<p>(8)海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。</p>
<p>現地に到着後は Appstore の地域をイギリスに変更しないと、日本対応していないアプリが入れられません。 学生割引がきくことが多いので、student beans や unidays のアプリを入れると良いです。 Railcard は電車がかなりお得になります。電車は open return の方が安いです。Tesco と boots の会員登録はすべし！日用品や生鮮食品がお得になります。 Hugo というアプリでラフバラの sprint bus などのトラッキングサービスが使えます。バスは基本的に時間通りに来ないので入れておくと便利です。 クラブやパブに行く時、身分証明のパスポートは持ち歩いておくと良いです。お酒の年齢確認は基本的にイギリスの免許証かパスポートじゃないとできません。絶対年齢確認されます。スリにだけは気をつけてください。 日本から荷物を送る場合、1ヶ月かかると思っておいた方が良いでしょう。 とりあえず、笑顔で挨拶とお礼が大事！！ Hello/Thank you/Have a good day</p>
<p>私のイギリス留学メモのリンクを貼っておきます。あくまで個人の体験ですが、役に立つこともあるかもしれません。 https://docs.google.com/document/d/1AVwlaNf-PmNjRXidAMnadhRbLTMuhV1kt6cy2RKOJoQ/edit?usp=sharing</p>

(9)海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上



1. 基本情報	
留学先大学	ラフバラ大学 (イギリス)
協定留学プログラム	1セメスター
留学期間	2025年10月~2026年2月
名前	T・Aさん
学部・学科・専攻	芸術学部 美術学科 洋画専攻
留学した時の学年	3年次

2. 渡航前手続きについて (留学ビザ)	
ビザの種類	Students Visa
申請先	VFS.GLOBALビザ申請センター
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	2週間
ビザ取得費用	£600 (日本円 12万円)
必要書類	中国国籍の場合: パスポート、残高証明書、海外旅行保険証書、住民票、在学証明書、飛行機のチケット、イギリスでの滞在先の証明 上記全て英語+原本の提出
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
オンラインで申請したいビザの手続きを済ませる→個人情報や生活の現状、イギリス滞在時の予定などを入力 オンラインで近場のビザ申請センター(東京もしくは大阪)を予約 申請センターに行って指紋登録などを済ませる ↑上記までの詳しい手順や準備すべきものはすべてオンライン申請の段階で知らされる ビザの可否を自宅で待ち、可否問わずパスポートを自宅もしくはビザ申請センターで受け取る ビザのページが追加されていれば合格。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
面接はなかったです。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	
提出する書類の名前の表記は全てパスポートと一致させないと、受け付けてもらえないことがありました。	

2. 渡航について	
利用航空会社	ANA
航空券手配方法	エアトリ
大学の最寄り空港名	ヒースロー空港
現地到着時刻	午後3時
キャンパスへの移動手段	電車
移動所要時間	約3時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
ロンドンから乗車する際、日本の電車と違って、チケットには搭乗時刻が表示される場合がある。表示される時刻より早くついても遅くついても電車に乗れない場合がある。	

渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記をお願いします。	
イギリスのコンセントの穴の形は日本と異なりますので、日本の充電器などをそのままイギリスで使用したい場合は、事前に穴の数を変換できる道具の購入が必要	
3. 住居について	
住居タイプ	民宿
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	一人部屋
住居を探した方法	民宿アプリ
住居申し込み方法	アプリ内での手続き
1カ月の宿舎費（現地通貨）	£700
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	
洗濯物は外に干さないで乾燥機で乾かすお家があるので、乾燥機に入れてはいけないような服を持って行かないことをお勧めします。	

4. 留学先オリエンテーションについて	
オリエンテーション有無	ありました
日程	2025月9月末
参加必須ですか？	いいえ

5. 授業について	
履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着前に書類で
履修 科目・単位数は？	4科目20単位
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよかった

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。	
履修学科名	Creative Arts 創造芸術
① 履修科目コース名	Identifying Individual Practice 個人制作の見極め
授業時間	240分
授業回数(週)	1~2
単位数	10
授業内容・課題・試験について	実技の授業 自分はアクリル絵の具で抽象のドローイングを制作しました 課題自体としては授業内での制作物を二点以上提出する
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。	

協定海外留学レポート

Joshi University of Art and Design

② 履修科目コース名	Developing Individual Practice 個人制作の発展	
授業時間	120分	
授業回数(週)	週1回	
単位数	10	
授業内容・課題・試験について	デジタルのワークショップ 3Dモデルの制作や映像編集ソフトの勉強などさまざまありました 課題は授業中の制作物を提出する、もしくは個人で授業内容を応用したものを提出する。	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		
③ 履修科目コース名	Ethical, Political, and Environmental Contexts in Art 芸術における倫理的・政治的・環境的背景	
授業時間	120分	
授業回数(週)	1	
単位数	5	
授業内容・課題・試験について	自分について、自分の制作について、自分もつ芸術の方向についてのマップを作る授業。 課題は作ったマップを提出すること。	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		課題のマップは一枚のみです
④ 履修科目コース名	Reading Art Theory 芸術理論の読解	
授業時間	60分	
授業回数(週)	1	
単位数	5	
授業内容・課題・試験について	主に現代アートの領域における芸術作品や作家についての紹介や書籍に対して感想をまとめること。芸術が社会とのつながりを考える要素が強い。 2000字前後の英文レポートを提出。	

7. 現地情報
(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？
キャンパス内では大学の Wi-Fi を問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。地下鉄や電車の中では4G 使用できない時がありました。
(2)現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？
SIM カードを空港や当地のスーパーで購入しました。
(3)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？
主にクレジットカード払いでした。現金が使えない店もありました。
(4)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？
ほとんどありませんでした。
(5)現地での資金調達はどのように行いましたか？
イギリスで使えるクレジットカードを作りました
(6)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？
はい、80万円くらいです。
(7)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。
日本語の本 普段使っている歯磨き粉(現地で見たい目は普通で味がすごく不思議な歯磨き粉に当たってしまったため)
8. 留学体験記
(1)留学しようと決めた理由は？
もっと視野を広げたかったからです。
(2)留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？
交通系のアプリを事前にダウンロードしておけばよかったと思います。 20歳前後で電車の割引を申請すれば、運賃は三分の一も安くなるのと、イギリスは紙のチケットよりも電子のチケットの方が手続きの時間場短くて便利でした。
(3)この協定大学を選んだ理由は？
必要な言語資格のうち、英語のみ条件に達したからです。
(4)大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？
生徒も先生もとても親切で、大変心地よく過ごすことができました。
(5)交友関係についてお聞かせください。
同じ言語を話せる人や、日本の文化に興味がある人と友達になれました。
(6)困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。

キャンパス内のバス、あるいはキャンパス周辺のバスがかなりの頻度で道路の封鎖が原因で動かなくなることがありました。

(7)現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。

実技制作においては全てが自由でした。

キャンパス内では3Dプリンターや印刷、陶芸に必要なものもありました。

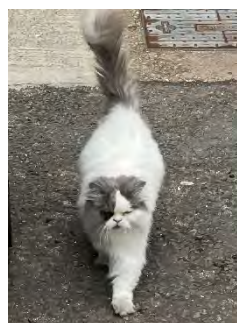
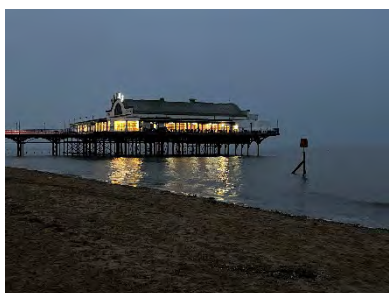
実技以外では作家を紹介される授業や、現代美術について学ぶ授業がありました。

(8)海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。

英語をうまく話せなくても会話はできることと、生徒と先生は自分に高い言語能力を求めているわけではないこと。

イギリスはいろんな人種が生活していて比較的どの人種でも気楽で生活できると感じたこと。

(9)海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上



1. 基本情報

留学先大学	ラフバラ大学（イギリス）
協定留学プログラム	1 セメスター
留学期間	2025年9月～2026年1月
名前	何 蕊
学部・学科・専攻	芸術学部 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻
留学した時の学年	3年次

2. 渡航前手続きについて(留学ビザ)

ビザの種類	Visitor visa
申請先	UK Visas & Immigration (VFS Global 経由で申請)
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	1 回目 (通常申請) : 約 3 週間 2 回目 (優先サービス利用) : 5 日間
ビザ取得費用	総額: 約 15 万円 内訳: 通常申請料: 125 ポンド (約 2.6 万円) × 2 回 (再申請のため) 優先サービス (Priority Service) 追加料金: 500 ポンド (約 10 万円)
必要書類	パスポートの全ページカラーコピー (空白ページも含む)、 資金証明書、 スポンサーとの関係を証明する書類、 スポンサーからの同意書・宣誓書、 日本の在留カードのコピー (日本国籍以外の留学生に必須)、 ラフバラ大学からの Visa Letter

具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。

2025年7月14日に1回目のオンライン申請(UK Visas & Immigration)を行い、VFS Globalでの生体認証予約と必要書類のアップロードを済ませました。しかし、8月11日にビザの却下通知を受け取りました。理由は、「イギリス留学期間中に日本の在留資格の期限が切れるため、そのままイギリスに不法滞在する可能性がある」と疑われたためでした。

これを解決するため、8月末に日本の在留資格更新の手続きを急いで行い、通常より早い9月中旬に新しい在留資格が下りました。その後、直ちにイギリスビザの再申請を行いました。その際、状況が特殊であったため、女子美の国際センターに依頼してカバーレターを発行していただき、さらに自分でもこれまでの経緯を詳細に記した「事情説明書」を作成して提出しました。追加料金を払って優先サービスを利用したこと、これらの追加書類による丁寧な説明が功を奏し、無事にビザが発給され、なんとかラフバラ大学の授業開始日の前日に現地へ到着することができました。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。

面接は特にありませんでした。VFS Globalのセンターで指紋採取と顔写真の撮影を行ったのみです。

ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。

外国人留学生の場合、日本の在留資格の有効期限が非常に重要です。イギリス滞在中に日本の在留期限が切れてしまうと、ビザが却下される可能性が高いです。留学を計画する際は、まずご自身の日本の在留カードの期限を確認し、必要であれば早めに更新手続きをしておくことを強くお勧めします。

2. 渡航について

利用航空会社	タイ国際航空
航空券手配方法	Trip.com
大学の最寄り空港名	ヒースロー空港
現地到着時刻	午後 8 時
キャンパスへの移動手段	地下鉄と鉄道
移動所要時間	約 2 時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記をお願いします。	
特に大きな困難はありませんでしたが、イギリスの鉄道は料金が高めです。そのため、事前にオンラインで Railcard を申請しておく、移動にかかる交通費をかなり節約できるのでおすすめです。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記をお願いします。	
後になってから知ったのですが、ラフバラー大学には留学生向けの空港送迎サービスが用意されています。これから渡航する方は、自力で移動のスケジュールを組む前に、まずは必ず大学の公式サイトで送迎サービスの有無や日程を確認することをおすすめします。	

3. 住居について

住居タイプ	大学寮
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	2 人部屋
住居を探した方法	大学からの案内
住居申し込み方法	大学からの案内に従って大学 Web ページより申し込み
1 カ月の宿舍費 (現地通貨)	約 £ 600
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	
建物や設備はトラブルが起きることがたまにあります。しかし、大学側のサポート体制はしっかりしているので、何か設備トラブルがあった際は、焦らずすぐに寮の管理センターへ報告・相談することが大切です。	

4. 留学先オリエンテーションについて

オリエンテーション有無	ありました
日程	2025 年 10 月 1 日
参加必須ですか？	いいえ

5. 授業について

履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着前にオンラインで
履修 科目・単位数は？	4 科目 30 単位
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよかった

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。

履修学科名	Graphic Design	
①履修科目コース名	Social Design	
授業時間	60分～120分（授業により異なる）	
授業回数（週）	週3～4回	
単位数	10	
授業内容・課題・試験について	<p>Figmaを使用したアプリデザインのコースです。特定の慈善団体に向けたアプリをデザインすることが課題でした。</p> <p>授業内容：リサーチ方法の学習、対象となる慈善団体の紹介、Figmaのチュートリアル、学生同士で進捗を共有しアドバイスし合う講評会、および英語でのアカデミック・ライティングのセミナーが含まれます。</p> <p>最終提出物：Figmaのデモンストレーション、UIデザインのPDF、制作プロセスのPDF、および約1500語のレポート。</p>	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		
	<p>慈善団体 SAS に向け、イギリスの民間伝承をベースにした一連のバッジシステムとアプリをデザインしました。精緻なビジュアル表現と、それを裏付ける充実した理論的検証が高く評価されました。</p>	

協定海外留学レポート

Joshi University of Art and Design

②履修科目コース名	Visualisation	
授業時間	60分～120分（授業により異なる）	
授業回数（週）	週3～4回	
単位数	5	
授業内容・課題・試験について	<p>データを視覚化するコースで、After Effects を使用したアニメーション制作が求められます。</p> <p>授業内容：データ視覚化作品の紹介、視覚化のアプローチを探求するワークショップ、After Effects のチュートリアルなど。</p> <p>最終提出物：完成したアニメーション映像、および制作プロセスのPDF。</p>	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。	 <p>イギリスでの思い出を元に自らオリジナルの楽曲を制作し、その音楽理論や構造に基づいて視覚化を行った映像作品です。</p>	
③履修科目コース名	Narrative and Sequence	
授業時間	60分～120分（授業により異なる）	
授業回数（週）	週3～4回	
単位数	10	
授業内容・課題・試験について	<p>視覚的なアプローチで物語を表現するコースで、制作のフォーマットは自由です。</p> <p>授業内容：物語の伝え方や名作の紹介、学生同士の進捗シェアと意見交換、英語でのアカデミック・ライティングのセミナーなど。</p> <p>最終提出物：ハイクオリティな最終完成画像、制作プロセスのPDF、および約1500語のレポート。</p>	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		
	<p>「AIと宗教の関係」について本格的に考察した作品です。講評では「理論面は非常に充実しているが、視覚的な実行力が不足している」との指摘を受けましたが、この悔しい経験から多くを学び、結果として自身の今後の研究テーマと方向性を明確にすることができた、非常に意義深いプロジェクトとなりました。</p>	

協定海外留学レポート

Joshi University of Art and Design

④履修科目コース名	Collaboration	
授業時間	60分～120分（授業により異なる）	
授業回数（週）	週3～4回	
単位数	5	
授業内容・課題・試験について	<p>グループワークを通じて1冊の本を制作するコースです。特定の哲学や思想に基づいた創作が求められます。</p> <p>授業内容：製本や印刷のプロセス、哲学的な思考法、グループでの協力・協働の手法について学びます。</p> <p>最終提出物：完成した実物の本、本をめくる様子の動画、本のデジタル原稿、および各メンバーが担当した部分のビジュアルエビデンス。</p>	
<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>		 <p>アートディレクターという責任あるポジションに挑戦し、交換留学生でありながら、現地の学生と留学生の混成チームを牽引しました。リサーチ、イラスト制作、本文執筆、レイアウトなどを幅広く担当し、専門スキルと責任ある姿勢が評価されました。この授業をきっかけに、担当教授とは現在も続く良好な関係を築くことができました。</p>

7. 現地情報

(1) パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？

キャンパス内の Wi-Fi は非常に繋がりがやすく、通信速度も良好で、学習や日常の連絡において快適に利用できました。

(2) 現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？

渡航前に Amazon で数日間使える一時的な SIM カードを購入して持参しました。その後、現地での生活が落ち着いてから、より料金が手頃な「Lebara」の SIM カードを契約し、切り替えて使用しました。

(3) 現地での支払い方法はどのようにしていましたか？

日常的な買い物や生活費の支払いは、ほぼすべてクレジットカードを利用しました。イギリスはキャッシュレス化が非常に進んでいます。

(4) 現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？

ほとんどありませんでした。例外として、クレジットカードを持ち忘れて外出してしまった際に、一度だけ現金を使用した程度です。

(5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

現金を使う必要が全くと言っていいほどなかったため、現地で ATM などからキャッシングする機会は一度もありませんでした。

(6) 日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？

はい。念のため 100 ポンドほどの現金を持参しましたが、前述の通りほとんど使用する機会はありませんでした。

(7) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

使い慣れた筆記用具や文房具を持参することを強くおすすめします。ラフバラーの周辺では、日本のように高品質で使いやすい文房具を手に入れるのが少し難しいためです。

8. 留学体験記

(1) 留学しようと思った理由は？

2024 年から 2025 年にかけて、女子美にやってきた交換留学生たちとの出会いが大きなきっかけです。彼女たちと交流し、異なる背景や豊かな感性に触れる中で、自分自身の視野の狭さや価値観の偏りに気づかされました。「多様な文化や考え方に直接触れてみたい」と強く思うようになり、大学が提供している交換留学制度を利用して、思い切って海外へ飛び出すことを決意しました。

(2) 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？

渡航前の手続き、特にビザの申請には少し苦労しました。実はビザが一度却下されてしまい、再申請などで出発前の準備が非常に慌ただしくなってしまったからです。これから留学を考えている方、特に日本に在籍している外国人留学生の場合は、事前に自身の在留資格の有効期限や条件などを早めに確認し、余裕を持って手続きを進めることが非常に重要だと痛感しました。

一方で、学習面に関しては、ラフバラー大学は留学生に対するサポート体制が非常に充実していました。そのため、特別な事前準備がなくても、留学中の学習面で大きな問題に直面することはなく、安心して課題や制作に集中することができました。

(3) この協定大学を選んだ理由は？

ラフバラー大学は、イギリス国内でもグラフィックデザインの分野でトップクラスの評価を受けており、そこで本格的なデザインを学んでみたいと思ったのが最大の理由です。また、以前女子美に来ていたラフバラー大学からの交換留学生たちと関わる中で、彼女たちの作品や考え方に深く感銘を受けたことも、この大学を選ぶ強い後押しとなりました。

(4) 大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？

学習環境は非常に自由で、日本のように厳格に出席率で管理されるというよりは、学生の自主性が重んじられていました。学生たちは皆、自信に満ちていて、心に余裕がある雰囲気があり、とてもフレンドリーで親切です。また、キャンパス内には数多くのソサエティやスポーツ活動があり、常に様々なスポーツの試合やイベントが開催されていて、非常に活気に溢れていました。

(5) 交友関係についてお聞かせください。

現地のソサエティやイベント、ワークショップ、そして無料で参加できる語学クラスなどに積極的に参加しました。その結果、スケッチサークルやワークショップで出会ったアート好きな学生たち、音楽サークルや合唱団で出会った音楽好きな学生たち、さらには英語クラスで出会った多国籍な留学生たちなど、現地の学生から留学生まで、幅広い交友関係を築くことができました。

(6) 困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。

一番困ったのは交通機関のトラブルです。日本のように時間通りに運行されることは少なく、驚くようなアクシデントも経験しました。例えば、事前に列車のチケットを買っていたにも関わらず、翌日駅に行ってみると突然のストライキで電車が全く動いていなかったことがあり、非常に焦りました。イギリス生活では、臨機応変に対応する力が鍛えられました。

(7) 現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。

専門科目は多岐にわたり、アプリのUIデザイン、グループワークによるブックデザイン、ナラティブの授業、ヴィジュアルイゼーションなど、それぞれ全く異なる専門スキルが求められる内容でした。教授陣は皆とても親切で手厚くサポートしてくださったため、大きな困難を感じることなく、チャレンジングでありながらも非常に楽しく学ぶことができました。日本とは異なるデザインのアプローチや新しい視点を数多く吸収できました。

語学面では、大学が無料で提供している基礎英語クラスやスピーキングクラブに積極的に参加し、実践的な日常英語を身につけました。

さらに、学内の作曲クラスにも参加し、そこで学んだ知識を専門科目の「ヴィジュアルイゼーション」の課題に応用して、自ら制作したオリジナル曲を作品に取り入れるという新しい試みも行いました。

(8) 海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。

ロンドンなどを訪れた際、日本との治安や社会状況の違いを肌で感じました。特に、駅周辺で物乞いをしている若者の姿や、大麻の乱用といった深刻な社会問題の一部を目の当たり、衝撃を受けました。イギリスは素晴らしい国ですが、場所によっては治安があまり良くないエリアもあるため、これから留学する人は「自分の身は自分で守る」という危機管理意識を常に持ち、周囲の状況に十分注意を払う必要があると強く感じました。

(9) 海外生活の中で印象深いこと（風景、人、モノなど）を写真で紹介してください。4点以上



寮に入居して1週間も経たないうちにキッチンが故障し、水道管破裂の危機に。その結果、なんとホテルに無料滞在（1日3食付き）することになりました。その後、キッチンは2ヶ月間も使えませんでした。今となってはイギリスらしい忘れられないハプニングです。



740年以上の歴史を誇る「ノッティンガム・グースフェア（Nottingham Goose Fair）」を訪れました。移動遊園地のアトラクションがひしめき合い、独特で活気あるイギリスの伝統的なお祭りの雰囲気存分に味わうことができました。



現地のコミュニティで知り合った友人たちとの一枚です。彼らは以前ラフバラー大学に来ていた女子美の先輩留学生とも親交があり、過去の留学レポートにも登場していたそうです。遠い異国で女子美の繋がりを感じ、温かい気持ちになりました。



学内外で開催される無料のワークショップに多数参加しました。コースターや缶バッジ、フェルト作品の制作など、様々なアートを気軽に試すことができ、地元の芸術愛好家たちとも楽しく交流を深められました。

協定海外留学レポート

Joshi University of Art and Design



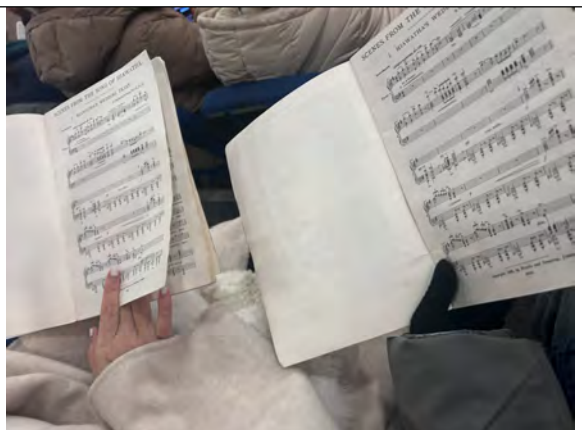
ノッティンガムで開催された「Zine Fes」に参加しました。現地のアーティストたちと交流する中で、なんと女子美へ交換留学の経験があるラフバラー大学の卒業生と偶然知り合うことができ、両校の交流の歴史とご縁の深さを改めて実感しました！



女子美の友人、そして現地で知り合ったミュージシャンと一緒にバンドを結成しました。現地の音楽スタジオに入り、一緒に練習に励んだことは、言葉や文化の壁を越えた最高の思い出です。



年末年始の休暇を利用してロンドンへ足を運び、有名な年越しのカウントダウン花火を鑑賞しました。新年の幕開けを祝う華やかな雰囲気とスケールの大きさは圧巻でした。



現地の友人に誘われて地域の合唱団に参加し、地元のおじいちゃんやおばあちゃんたちと一緒に合唱の練習をしました。世代や国籍を超えて、地域の方々と音楽を通して触れ合えた心温まる経験です。

1. 基本情報	
留学先大学	ラフバラ大学 (イギリス)
協定留学プログラム	1セメスター
留学期間	2025年9月~2023年2月
名前	I・Hさん
学部・学科・専攻	芸術学部 美術学科 立体アート専攻
留学した時の学年	3年次

2. 渡航前手続きについて(留学ビザ)	
ビザの種類	ETA
申請先	オンライン公式アプリ
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	三日
ビザ取得費用	16£
必要書類	パスポート
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
オンラインで申請する。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	



2. 渡航について	
利用航空会社	JAL
航空券手配方法	HIS
大学の最寄り空港名	ヒースロー空港
現地到着時刻	6:20am
キャンパスへの移動手段	大学送迎バス
移動所要時間	約三時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	

3. 住居について	
住居タイプ	大学寮
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	二人部屋
住居を探した方法	大学からの案内
住居申し込み方法	大学からの案内に従って大学 Web ページより申し込み
1カ月の宿舍費（現地通貨）	£2,398.42
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	
案内がありましたら、すぐに申請することをお勧めします。	

4. 留学先オリエンテーションについて	
オリエンテーション有無	ありました
日程	2025年9月25日
参加必須ですか？	はい

5. 授業について	
履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着前にオンライン
履修科目・単位数は？	4科目
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよい

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。	
履修学科名	Fine art
① 履修科目コース名	Identifying Individual Practice
授業時間	レクチャー120分 実技 180分
授業回数(週)	2回
単位数	20Credits
授業内容・課題・試験について	作品の方向性を探究、スタジオでの自主制作。 アーティストリサーチ。 ・提出物 2つの完成された作品とそれぞれの文字コンセプト リサーチジャーナル

<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>		
<p>② 履修科目コース名</p>	<p>Rereading Art Theory</p>	
<p>授業時間</p>	<p>120分</p>	
<p>授業回数(週)</p>	<p>1回</p>	
<p>単位数</p>	<p>10Credits</p>	
<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>リーディングとディスカッション ・提出物 レポート</p>	
<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>	<p>Hinako Bergame Work1 Letter</p> <p>This reading art theory provides an opportunity to reconsider art anew. I hope to read various materials and contemplate art from diverse angles. I feel this perspective is crucial for continuing my creative practice. I also believe maintaining diverse viewpoints on art is important for understanding how my own work is received within society. Furthermore, as an international student, I consider this a valuable opportunity to engage with literature I have not previously encountered. One's environment inevitably shapes the subjects one engages with. This allows me to verify whether my own opinions are biased. Conversely, it may also reveal the values I hold. I am interested in how art operates within society. Learning others' perspectives on this is likely to be valuable stimuli. For instance, this week's reading material, Kaye Deepwani's <i>Feminist Activism and Artivism</i>, describes feminist art activism not merely as a visual extension of women's liberation movements, but as something capable of stimulating and reconstructing both art and politics. As I attend an all-women's university, this struck me deeply. Consequently, I came to see my own university as having been born within that very process of reconstruction.</p> <p>Work2</p> <p>Gillian Whiskey's <i>Pamphlet: The Radical Art of Pamphlet-Making</i> explores the appeal of pamphlets. It particularly examines the unique publishing form they embody, elucidating this through historical analysis. While information often becomes buried in history, pamphlets possess a publishing form that resists being subsumed by any system or authority. Key factors enabling pamphlets' survival include their immediacy, low cost, and portability. Furthermore, their anonymity allowed diverse ideas and critiques to be expressed through them. In historical periods where free expression was restricted, this proved a significant advantage.</p> <p>Moreover, pamphlets harbour the potential to extend individual thoughts into the public sphere. Their power remains present even in the modern era. Initially, I believed pamphlets differed little from magazines, history textbooks, or other books. However, while other books record completed ideas or history, pamphlets can preserve the processes and personal experiences within them. Moreover, one characteristic of it is its ability to publicly disseminate personal ideas and critiques. I felt that the potential inherent in such pamphlets aligns well with art. I also thought pamphlets, while not overly bold, can speak to people's</p>	<p>gender possible extent. Thus, we mutually recognize one another. This lecture led me to realize that the potential of art knows no bounds. It continually evolves. For I believe art is born not from material substance, but from relationships.</p> <p>Artistic Introduction</p> <p>In Week 1's lecture, I shall introduce the artist Masahiko Kawanishi. His work powerfully expresses the instability of the body and gender. Kawanishi liberates the body from fixed frameworks of gender and identity, presenting it as fluid and uncertain. Furthermore, viewed through a feminist lens, his work disrupts existing values and norms concerning femininity and beauty in an inconspicuous manner. This disruption is depicted in a raw, sometimes grotesque manner, evoking discomfort and unease in the viewer. Additionally, one can discern a critique of the male-centric history of sculpture, which has long idealized heroic, perfected representations of the human form. Thus, while Kawanishi is not an artist who directly advocates feminism, his expression dismantles the very premises that have constructed gender. His work challenges existing concepts and definitions, compelling us to reflect upon our unexamined assumptions and values.</p> <p>Within his oeuvre, the series <i>Phantom Limb</i> particularly resonates with this feminist perspective. <i>Phantom Limb</i> refers to the phenomenon where individuals who have lost a body part through accident or illness continue to feel as though the lost limb still exists. Manifesting as sensations like pain or itching, it symbolizes a state where the lost part persists within sensation and memory. This phenomenon feels aligned with the societal unconsciousness described by Carol Hanisch in <i>"The Personal is Political"</i> (Work 4), which she identified as a cause of women's oppression.</p> <p>In contemporary times, while women's issues are gradually improving through the efforts of many, there remain women who have already suffered the deprivation of numerous rights and endured deep wounds. <i>Phantom Limb</i> appears to visualize this under-suffering and societal cruelty through raw physical expression. The relationship between body and memory depicted in the work is akin to a traumatic bond, its background lying in various factors such as biology, social structures, and discrimination. Thus, viewing the work simultaneously brings forth personal experience and social context. As Carol stated, this visually demonstrates that personal issues are social issues. Moreover, the instability</p>

③ 履修科目コース名	Developing Art Theory	
授業時間	レクチャー60分、実技180分	
授業回数(週)	2回	
単位数	20Credits	
授業内容・課題・試験について	実験制作。絵画、彫刻、写真、などから一つ選択して実技の授業を受ける。 私は彫刻を選択し、陶芸工房と木工房で実技の授業を受けました。 ・提出物 三つの実験制作 プラクティカルジャーナル	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。	<p>metal Mayfly</p>  <p>Initially, I cut metal sheets to shape them, but this proved extremely time-consuming, so I switched to using bar stock. I am using steel. As I am creating organic living creatures rather than inorganic objects, I utilised the organic forms achievable through welding. Furthermore, to depict the wings of a mayfly, I engraved patterns using a rotary tool. However, I concluded that representing the wings in metal would be too heavy. Consequently, I shifted direction towards creating a body that would allow one to imagine the wings of a mayfly.</p> 	<p>Clay modelling</p>  <p>We proceed to shape the clay. We consciously aim for a lifelike quality in the modelling. I thoroughly moistened it with water and smoothed it to create that texture. Due to its delicate feel and slender legs, it broke several times. Once the modelling was complete, it was fired, then sprayed with glaze to add colour. The exact colour of the glaze only becomes apparent after firing. Furthermore, many colours didn't exist unless mixed. Therefore, to express purple, I painted it by flicking black, red, and blue glazes with a toothbrush.</p>
④ 履修科目コース名	Ethical, Political, and Environmental Contexts in Art	
授業時間	レクチャー60分、60分セミナー	
授業回数(週)	一回	
単位数	10Credits	
授業内容・課題・試験について	リサーチ、意見交換 ・提出物 マインドマップ	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		

7. 現地情報	
(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？	【回答例】 キャンパス内では大学の Wi-Fi を問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。
	キャンパス内で大学の Wi-Fi を使用できました。しかし少し弱いので自分のネットを使うことも多い。
(2)現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？	【回答例】 SIM カードを渡航前に Amazon で購入しました。
	eSIM を購入しました。
(3)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？	【回答例】 主にクレジットカード払い
	クレジットカード払い。
(4)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？	【回答例】 はい、友達との食事代支払いの時に使用しました。
	はい。お店で現金を支払う事はありませんが、友達との食事代の支払いに便利です。
(5)現地での資金調達はどのように行いましたか？	【回答例】 ①クレジットカードを使用して ATM で現金を調達しました。 ②日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。
	クレジットカードを使用し、ATM で現金を調達しました。2 つ以上はクレジットカードを持っていった方がよいと思います。
(6)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？	【回答例】 はい、£1,000位
	はい。約£100。
(7)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	【回答例】 日本の調味料
	日本の調味料やレトルト。
8. 留学体験記	
(1)留学しようと決めた理由は？	一緒にアートをしていた親友もイギリスの大学に通っているから。イギリスの文化に共感し、なぜ共感したのか確かめたいと思った。広い世界を感じたかったから。
(2)留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？	英単語以外にも便利な言い回しを覚えて置くこと。早めの時期にパッキングすること。 作品のアイデアをいくつか考えておくこと。
(3)この協定大学を選んだ理由は？	落ち着いた雰囲気で作りに集中できそうだと感じたから。
(4)大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？	美術だけでなく様々な分野の学生がいるため、普段関わることのない人と関わることが面白いと感じた。 イベントが多く活発な雰囲気。 課題がない時は楽しみ、課題のある時は夜中まで図書館が混雑します。
(5)交友関係についてお聞かせください。	

週に2回ほどスタジオで仲良くなった友人とお互いの寮で料理をしたり、映画を見ました。また大学のソサエティーやイベントなどで交友関係が広がりました。冬休みには大学で仲良くなった二人の友人の家に遊びにいたり、一緒に旅行をしました。授業でもよく友人に助けてもらい、本当に感謝しています。その友達が今、女子美の協定留学に申請しています。もし友達が女子美に留学できたら私もお返しができたらと思っています。よく英語と日本語を教え合っています。

(6) 困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。

たまにシャワーが冷水になること。ネット関係。
 ATM からクレジットカードが戻ってこなくなってしまうこと。
 作品の材料はどこで揃えていいかわからず特殊な素材を使う場合は近くに売っているとは限らないのでオンラインで購入するなど計画をしておくといいです。

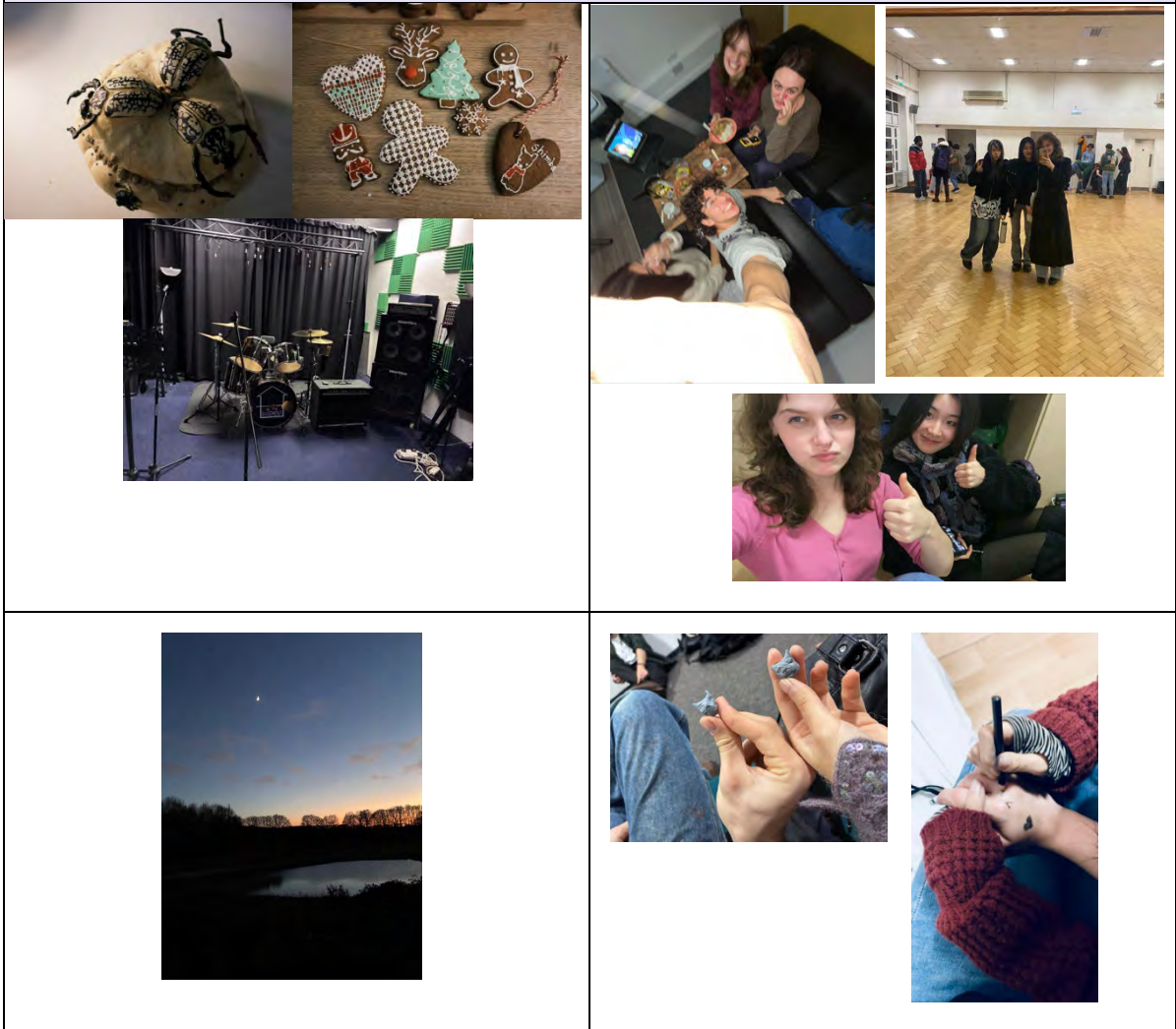
(7) 現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。

スタジオでは一人一人に制作スペースがあり、様々なアプローチの作品やその過程を見てとても参考になりました。イギリスの大学の過程をととても重視していることがよく分かりました。基本的に自主制作なので自分から情報収集し、早めに相談することが大切です。授業時間以外にも、必要な施設な施設(金属工房や陶芸工房など)があれば予約し作業をしました。また、イギリスの美術館は無料なので現地の美術館に行くことがお勧めです。授業に組まれているロンドントリップで美術館に行き、とても有意義な時間だったと思います。

(8) 海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。

選択肢がなくなったら違う方法を作ることもできると感じました。

(9) 海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上



1. 基本情報	
留学先大学	ラフバラ大学 (イギリス)
協定留学プログラム	1セメスター
留学期間	2026年2月~2026年3月
名前	S・Kさん
学部・学科・専攻	芸術学部 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻
留学した時の学年	2年次

2. 渡航前手続きについて (留学ビザ)	
ビザの種類	ショートプログラムのためビザは必要なし。ETA 申請のみ。

2. 渡航について	
利用航空会社	JAL
航空券手配方法	JAL のサイトから
大学の最寄り空港名	ヒースロー空港
現地到着時刻	午前 6 時
キャンパスへの移動手段	電車
移動所要時間	約4.5時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記をお願いします。	
1人での移動は特に、特急電車やバスで寝ない。夜までに家に着くようにする。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記をお願いします。	
特急電車やバスの予約。ギリギリで買うと高くなるため、できるだけ早めに買いました。私は、キャリーケースの移動が大変だったので初日はバスで移動しました。(時間はかかりますが、1回の乗り換えで着きます。)	

3. 住居について	
住居タイプ	外部のシェアハウス
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	1人部屋
住居を探した方法	SpareRoom というサイト
住居申し込み方法	個人で家主とやり取りして申し込む
1カ月の宿舍費 (現地通貨)	£570
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	
住居によって、布団や調理器具が必要になることがあります。	

4. 留学先オリエンテーションについて	
オリエンテーション有無	なし
日程	
参加必須ですか？	

5. 授業について	
履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着前にオンラインで
履修科目・単位数は？	2科目 10単位
ボリューム的にどうでしたか？	大変だった

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。	
履修学科名	Graphic Design
① 履修科目コース名	Audience and Environment
授業時間	2-3 時間(1 日)
授業回数(週)	週 3 回
単位数	5
授業内容・課題・試験について	<p>体験型デザインを考える課題で、以下の課題がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 分間のプレゼンテーション ・30 ページの資料 <p>個人で制作を進めますが、グループディスカッションもありました。 私はゲームのデザインを考えました。</p>
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。	 
② 履修科目コース名	Design Research Method
授業時間	2 時間程度(1 日)
授業回数(週)	週 2 回
単位数	5
授業内容・課題・試験について	<p>課題は 2500 字のレポートでした。 内容は環境問題を 1 つ取り上げてリサーチし、デザインでの解決方法を提案する。というものでした。さらに、インタビューの書き起こしと、署名済みの同意書(人数分)、全集計グラフを提出する必要がありました。</p>

7. 現地情報
(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？ 【回答例】 キャンパス内では大学の Wi-Fi を問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。
キャンパス内では大学の wifi を問題なく使用できました。
(2)現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？ 【回答例】 SIM カードを渡航前に Amazon で購入しました。
eSIM をトリファで購入しました。
(3)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？ 【回答例】 主にクレジットカード払い

Wise というカードを新しく作って払っていました。
(4)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？ 【回答例】はい、友達との食事代支払いの時に使用しました。
特にありませんでした。
(5)現地での資金調達はどうに行いましたか？ 【回答例】①クレジットカードを使用して ATM で現金を調達しました。 ②日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。
現金は調達していません。
(6)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？ 【回答例】はい、£1,000位
いいえ
(7)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。 【回答例】日本の調味料
・醤油などの調味料 ・レンチンで食べられるご飯 ・フルーツグラノーラ ・日本のお菓子(友達に配る用も) キャリーケースに入れられなくても、ラフバラには Oriental Food Shop (OFS store) というアジアスーパーがあるため、カレーのルーや調味料などは現地でも調達できました。 カードは 2 から 3 つあると安心です。
8. 留学体験記
(1)留学しようと決めた理由は？
まとまった時間がとれる貴重な期間を活かし、海外生活を通じて多角的な物事の捉え方を身に付けたかったからです。また、歴史的建造物が日常の一部となっているイギリスの景観を体感してみたかったからです。
(2)留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？
リスニングです。知っている単語なのに聞き取れないことが多く苦戦しました。
(3)この協定大学を選んだ理由は？
教職を取っていたこともあり、2 ヶ月間、学校がない間に留学できるのが魅力的だったからです。
(4)大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？
日本と似ている雰囲気がありました。質問をすると、生徒も先生も優しく教えてくれました。
(5)交友関係についてお聞かせください。
人数が多い学科だったからか、仲良くなっても違うクラスになってしまうことがあり、親睦を深めるのが難しかったです。 シェアハウスに住んでいたため、ハウスメイトとはパブに行ったりゲームをしたりして遊びました。
(6)困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。
ロンドンではパスポートやスマホの盗難が多いと聞いていたので、気を抜けないのが大変でした。 対策として、ウエストポーチや、内ポケットにチャックのついた服があると便利です。 また、特急電車で寝ていたらアジア人狙いの不審者に絡まれたので、安全対策も大切だと思いました。 夜の移動は歩くよりは Uber の方が安全だと思います。また、夜に移動することにならないよう、早い時間の電車を選ぶことも大切だと思います。(困った時に助けを求められるため)
(7)現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。
液タブを使うため、授業以外は家で作業をしていました。

(8)海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。

自分の価値観が大きく変わるということはありませんでしたが、当たり前だと思っていたことの有り難さに気づきました。また、家族や友人との時間の重要性を改めて認識しました。

余談ですが、Google マップを入れておくと便利だと思います。

バスの発車地と発車時刻を見ることが出来ます。

物価は高いですが、野菜や果物は日本と同じくらいの値段で買うことができました。

(9)海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上

